



耕作放棄地

《秋山 律 郎》
再生農地
等地交換法について

問 8月26日に林農林水産大臣に談判するということがあったが、感触はどうであったのか。

答 率直な感想は、失望したということである。地方主権とか分権とか言い続けてきたが、国のこの農林水産省のハードルの高さというのを思い

知らされたというのが素直な気持ちである。
(市長)

総社市美術館
構想について

問 議会が、早期建設を求めて決議したこの構想に対する市長の考えはどうか。また、当面、歴史・美術資料に関する学芸員の採用が必要ではないか。

答 総社市民が待ち焦がれているものでもあり、時期は明

言できないが建設したいと思っている。また、学芸員は来年にも採用したい。
(市長)

今後の市政運営について

問 どのような方針で行なうとするのか。

答 自立する総社市を創る。そして、総社市内の形を変えていきたい。この二つの方向性をもって岡山県の中心エリアになっていきたい。
(市長)

《丹 下 茂》
市長の政治姿勢について

問 市営住宅の老朽化に対する取組と地域一括交付金の実施について、どのように対応していくのか。

答 著しく老朽化している四区域の市営住宅については募集をしておらず、他の住宅についても今すぐに建て替えということが出来ない状況である。今後、障がい者、高齢者

災害対策について

(市長)

へ対応した住宅もあわせて考えていく必要がある。また、地域一括交付金については、小学校区を中心に住民の密接な関係が構築されており、地域で真に必要な事業に使用できる内容で各地域の代表者による運営組織に任せ、透明性を持って健全な運営をしていく体制をとっていきたい。

問 災害時にお年寄りや障がい者など要援護者への対応として災害対策基本法の改正が行われたが、市としてどのように取り組んでいくのか。

答 今回の災害対策基本法の改正によるものは、「要援護者の避難支援ガイドライン」に基づき名簿作成が義務付けられたり、避難所における安全性を満たした施設の確保や食糧や医薬品などの医療サ―ビスの提供など生活環境の整



9月4日の大雨による被害(国道180号日羽地内)

総務文教委員会

◎8月定例会

◎新市まちづくり計画の変更について(議案第57号)

問 財政計画の見通しについて、地方交付税の減額並びに普通建設事業費の増額理由は何か。

答 平成27年度以降の地方交付税の減額については、合併算定替え適用期間終了に伴う普通交付税の減額によるものである。また、普通建設事業費で今後計画している大きな事業は、一般廃棄物最終処分場、小中学校耐震補強、消防署昭和出張所及び昭和公民館の移転新築、学校給食共同調理場の事業費を考えている。

◎総社市税外徴収金を期限内に完納しない場合における徴収条例の一部改正について(議案第58号)

問 県税はどうか。
答 今回の率の改正については、地方税法の改正によるも

のなので、県においても同様となる。

◎総社市立学校施設耐震化事業評価審査委員会条例の制定について(議案第59号)

問 審査委員会の委員は、専門的な知見を有する学識経験者としているが、具体的にはどのような方を想定しているのか。

答 学識経験者として、大学教授、教育関係に詳しい方、実務者として、建築に携わっている方、岡山県教育庁の職員、また、現職の校長などを考えている。

◎平成25年度総社市一般会計補正予算(第3号)
(議案第64号)

《補正予算の主な内容》

- ・平成24年度の一般会計決算確定に伴う財政調整基金積立金等の増額
- ・職員の早期退職に伴う退職手当の増額

問 本庁舎屋上防水及び本庁舎トイレ改修に係る設計等委

託料及び工事請負費が計上されているが、経費節減のためにも公募型プロポーザル方式で実施するべき事業ではないのか。

答 今後は、委員の意見を十分に加味して、検討していきたい。

◎工事請負契約締結について(議案第68号)

問 工事期間中、授業に支障はないか。

答 アウトフレーム工法の採用により、授業をしながらの工事が可能であるが、大きな音や振動が発生する工事については、夏休みや放課後に行う。

一般会計決算審査特別委員会
総務文教分科会

◎平成24年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について(認定第1号)(所管部分)

問 企画費の負担金、補助及び交付金として、県立博物館を誘致する会費負担金が支払われているが、総社市美術館

館建設に伴う基金を積み立てる考えはないか。

答 時期は明言できないが、今後、基金の積み立てについても考えたい。

問 体育施設指定管理委託料が指定管理業者に支払われているが、先般、総務文教委員会、きびアリーナを現地調査した。その際、掃除の仕方や庭木等施設管理のあり方が以前に比べて悪化していたが、改善結果はどうなったか。

答 毎月、担当者が現地へ出向いている。改善結果は早急に報告したい。

問 職員研修費における意識改革研修で、大勢の職員が玄関で講師をお出迎えすることは、市民の目には、コスト意識を欠いた異様な行為に映るのではないか。

答 もてなしの心を醸成するための行動と考えているが、市民から異様な感じにとられるのは良くないので、整合性を図るように検討したい。